

小学校 第5学年道徳学習指導案

日時 平成17年2月2日(水)5校時
場所 講堂

- 1 主題名 きまりは何のために? (4-② 規則の尊重)
- 2 ねらい 「AFPY」の活動(課題解決型ゲーム)を通して、集団や社会の中でお互いを尊重しながら共に生活していくためにはきまりが必要であることに気づき、きまりを大切にしようとする態度を育てる。
- 3 題材名 交通渋滞(「AFPY(やまぐちふれあいプログラム)」の活動)

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

様々な考えや行動をする一人ひとりが集まって形成されている集団や社会の中で、みんなが快適に安心して生活を送れるようにするためには、社会生活上の規則が必要となってくる。この規則によって、個人個人の権利も義務も規定されるが、同時にそれは、他人の権利を尊重することでもある。この規則は、個人的な価値判断や利害損失にとらわれてのものではなく、すべての人間や生命のあるものを尊重し大切にしようとする心に根ざしたものでなければならない。

集団や社会における自分の役割や責任などについての自覚が深まっていくこの時期に、単に規則を受動的に守ろうとするのではなく、集団生活を送る上での意味をつかみ、それを積極的に守ろうとする態度を育てていくことは、大切だと考える。そのためには、社会の一員として自分に課せられた義務を果たすことが必要であり、それが公德心に支えられた行動につながっていくと思われる。

(2) 児童の実態

本学級の17名の児童は、個性が豊かで、一人ひとりが自分の思いを持って生活をしている。また、結果を恐れず、いろいろなことに取り組んでみたいという意欲が旺盛である。しかし、その行動力が、時として周囲に対しての配慮のない言動となって現れてしまい、友だちを傷つけたり口論になったりすることがあり、これまでその折々やAFPYの活動を通して、これらのことについて考え合い学び合う機会を作ってきた。しだいに、自分本位の考えに対して、自分で振り返って反省したり友だち同士で是正し合ったりする姿が見られるようになってきた。

2学期の終わりに、学級の様子についてみんなで見つめ直し、成長したことと改善していきたいことについて話し合ったところ、児童はこれまでの自分たちの成長を実感しながらも、更に「ルールを守る」「計画性を持つ」「注意を聞く」の3つの点を自分たちのこれからの課題として上げた。その中の一つである「ルールを守る」は、これまでの経験からその必要性や大切さを理解していないわけではない。しかし、つい「これくらい・・・」という甘えや自分の欲求により、きまりを守らず、周囲の人にいやな思いをさせたり迷惑をかけたりしてしまう現状がある。

(3) 題材について

本題材は、PA(プロジェクトアドベンチャー)の教育手法をもとに開発されたAFPYを中心とした活動である。本時で行う「交通渋滞」は、各自が思うままに動く発生する「渋滞」を解消するための方法を考えながら、課題解決に向けて話し合いと挑戦を繰り返して行うゲームである(詳細は、別紙資料による)。そして、課題解決の過程で、集団で安全に心地よく活動していくためには何が必要であるかを見つけ出していくものである。

この活動の振り返りで、課題解決に向けての取り組みの中で考えたことや感じたことを出し合い、それを児童の社会生活での様々な体験につなげて考えることで、きまりの必要性を実感することができるのではないと思われる。

(4) 指導にあたって

児童が道徳的価値の内面的な自覚をより主体的に図るために、次の点を大切にしたい。

- ・児童が考えたり判断したりしながらきまりの必要性を実感することができるようにするために、体験的な活動を行う。
- ・児童が試行錯誤しながら考える過程を重視する。そのために、活動中はできるだけ指示をせず児童の様々な言動を把握して活動後の振り返りに生かせるようにする。
- ・活動後の振り返りでは、きまりがある時とない時の活動中の動きや気持ちの違いに着目させる。
- ・集団の一人として社会生活上のルールを守っていくことの大切さに気づかせるために、活動の過程や振り返りで、児童が相互に考えや経験を出し合って聞き合うことができるようにする。

5 準備 フラフープ スポットマーカー 大判用紙 カードマジック

6 展開

過程	学習活動と予想される児童の心の動き	教師の働きかけ(○)と評価(☆)
出合 う (3)	<p>1 身の回りで、きまりが守られていないと思うことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ廊下を走る人がいる。 ・みんなが集まるときに、うるさい人がいる。 	<p>○日常生活の中での気づきを思い出させることにより、本時のねらいとする価値への方向付けを図る。</p>
深め る (30)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>きまりは、何のためにあるのでしょうか。</p> </div> <p>2 課題解決型ゲーム「交通渋滞」をし、活動中での気づきや感じたことを話し合う。</p> <p><ゲーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく、速く動こう ・自分勝手に動いたのでは危ないし、渋滞して待たなければいけないから、かえって時間がかかる。 ・どうしたらいいか、みんなで話し合おう。 ・動き方を決めよう。 ・みんながわかっていないとうまくできない。 <p><ゲームの振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手に動いたら、渋滞した。 ・いつ動いたらよいかわからなかった。 ・動き方を決めたらスムーズに動けるだろう。 ・みんながきまり通りにしないと、うまく動けない。 ・きまりを作らないでしたら、「どうしよう」と不安になったけど、きまりを作ったら安心して動けた。 ・きまりを作ってみんながその通りにしたら、渋滞しなくなった。 	<p>○雰囲気や和らげるために、気持ちをほぐすためのゲーム「ハチの巣」を行う。</p> <p>○児童の気づきや主体的な活動を尊重するために、教師は、ゲーム中危険でない限り指示をしないようにする。</p> <p>☆自分たちで決めたきまりを理解し、主体的に活動しようとしたか。(観察)</p> <p>○活動を通して一人ひとりが学んだことを共有する場を設定する。</p> <p>○活動の中で実感したことを価値付けるために、次の振り返りの視点を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ渋滞が起こったか ・渋滞を解消するためにどうしたか ・渋滞している時とそうでない時とでは、何が違うか <p>☆友だちの意見を聞いて反応したり自分の意見を伝えたりすることができたか。(発表・観察)</p> <p>☆きまりの必要性に気づくことができたか。(発表)</p>
見 つ め る (7)	<p>3 自分の生活を振り返り、きまりに対してこれからどうありたいかを考えて書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までわかっているけど守らなかったこともあったけど、みんなに迷惑をかけてしまうから、守るようにしていきたい。 ・きまりを守って、みんなで気持ちよく過ごせるようにしたい。 	<p>○きまりの大切さを感じた体験を想起させる。</p> <p>○きまりに対する一人ひとりの思いをお互いが知り合うことができるようにするために、カードに自分の考えを書き、それを大判用紙に貼るようになる。</p> <p>☆自分を振り返り、集団の一員としてルールを守ることの大切さに気づき、実践していることとする気持ちを持つことができたか。(カード)</p>
つ な げ る (5)	<p>4 きまりについての自分の考えや、友だちの考えに対して感じたことを発表する。</p>	<p>○児童の発言を拾い上げながら、きまりの必要性とそれに伴って一人ひとりに義務があることを意識付ける。</p>